

第22回 I S O E 運営委員会議事概要

I. 月 日 2012年11月14日(水)～15日(木)

II. 場 所 O E C D 本部(フランス)、C C - 1 会議室

III. 出席者

[I S O E 幹部会]

G. Abela(議長、フランス)、W. Harris(次期議長、米国)、T. Brock(副議長、米国)、S. Djeffal(副議長カナダ)、C. Lindvall(元議長、スウェーデン)、J. Y. Gagnon(元議長、カナダ)、水町(元議長、日本)、V. Simionov(元議長、ルーマニア)、B. Okyar(O E C D / N E A)、J. Ma (I A E A)

[I S O E 技術センター]

C. Shieber、L. D' ascenzo(ETC、欧州技術センター)、林田(ATC、アジア技術センター)

[I S O E 加盟国代表]

13カ国から約30名

IV. 議事概要

はじめに、議事に先立ってO E C D / N E A のエチャバリ事務局長より挨拶があった。I S O E の20年の歴史を振り返り、その間にI S O E が果してきた情報・経験交換の重要性を述べるとともに、原発事故の影響についての議論や教訓の反映等、今後の活動に期待すると述べられた。

1. 関連国際機関の活動(O E C D / N E A、I A E A)

Okyar氏がO E C D / N E A のC R P P H(放射線防護・公衆衛生委員会)の活動状況を紹介した。I C R P 等との共同作業による福島支援活動、日本で開催された第3回科学と価値WS・第6回アジア会議の状況などが紹介された。また、I A E A のMa氏は、職業放射線防護に関連する安全基準の改定や各地域で会合状況、アジア、東欧・中東、ラテンアメリカ等における地域のA L A R A ネットワークの状況等を紹介した。

2. 国別報告

参加各国から、自国の原子力発電所における被ばく状況、被ばくに係わる事象や対策等が紹介された。

3. 2012年のI S O E の活動成果

4つの技術センターを代表して、欧州技術センターのShieber氏が、以下の項目について2012年のI S O E の活動報告を行った。

- ・ 2011年のISOEデータベース（被ばく線量データ）の収集・登録
- ・ データベース、グラフ化機能（MADRAS）の機能拡張等の改良
- ・ ISOE年次報告書、ISOE20年誌の作成
- ・ ISOEネットワークウェブサイトの改良・開発
- ・ 地域、及び国際シンポジウムの開催

4. データ分析ワーキンググループ（WGDA）の活動報告

欠席したWGDA議長（Hennigor氏）に代わり、事務局のOkyar氏がWGDAの活動報告を行った。収集した線量データの分析、タスクチームや専門家会合（EG-SAM、EGWC）の活動、米国の線量データ登録に関するパイロットプロジェクトの状況等が報告された。

5. ISOE年次報告書及び20年誌

事務局からISOE年次報告書の作成状況が紹介された。2012年はISOE設立20周年にあたることから、これまでのISOEの活動をまとめた20年誌を作成中であり、今後1カ月間の技術センターによるレビューを経て発行することが報告された。

6. 2013年活動計画

4技術センターを代表して、欧州技術センターのShieber氏が、データ収集及びデータベースの改良、シンポジウム開催、情報交換等に関する2013年の活動計画を提案し、承認された。2013年のISOE国際ALARAシンポジウムは回り持ち開催のため、アジア地域で開催することとなっており、2013年秋に日本又は韓国で開催する。

7. 幹部交代

G. Abela議長及びT. Brock副議長とS. Djeffal副議長の任期満了に伴い、幹部交代が行われた。W. Harris次期議長（米国）が新議長になり、副議長には、J. Kaulard氏（ドイツ）が選出された。なお、新たな次期議長（アジア地域から選出予定）として、韓国から韓国水力原子力(株)（KHNP）のTae-Won Hwang氏が推薦されたが本会合に欠席のため決定は来年に延期された。

8. 今後の主な会合、シンポジウムの予定

2013年 4月22日（月）～25日（木）	WGDA、ビューロー、EG-SAM会合（フランス）
2013年 秋	2013年ISOE国際シンポジウム（日本又は韓国）
2013年 11月18日（月）～22日（金）	WGDA、ビューロー、ISOE運営委員会、 EG-SAM会合（フランス）

以上